



言葉の力

日頃、教師をはじめ大人が子どもたちにかけている言葉はさまざまです。言葉をかけたときの子どもの表情が、その言葉が子どもにとってプラスとなったのか、マイナスとなったのか、さらには、ただの雑音であったのかを教えてくださいのような気がします。学期末であり年末であるこの時期、子どもたちは、「2学期の取組を振り返ろう」という言葉をいろいろな場で耳にしています。私たち大人も子どもへの言葉を振り返る機会があってもよいのではと思い、文を綴りました。

■先日出席した会議でいただいた資料に、以下のような文が掲載されていました（抜粋）。

.....

「魔法の言葉」

最近、子どもへの声かけについて「これはとてもかなわない」と脱帽する言葉に出会った。学校で保護者に話したり、家で子どもと接したりする際の参考になればと思い、紹介させていただく。

芸能界で活躍されつつ大学院で学び、大学でも教えておられる方（菊池桃子さん）が子どもの頃、おばあちゃんがかけてくれたという「魔法の言葉」。それは、「〇〇（名前）はよくなってきたね」「〇〇、前よりよくなってきたね」というものだ。他のだれかと比べるものではない。その子が前よりも成長していることを褒め、しかもそれがまだ途上で、これから先もっと伸びるんだよ、という温かいまなざしを感じる。

テストで悪い点を取り、さすがに言われないうらさうと思ったときも「よくなってきたね」。驚いて聞き返すと、「気づいていないかい？〇〇はテストに慣れて緊張しなくなったんだよ。だから、緊張しなくなった自分をまず褒めようね」こういう人が身近にいてくれたら、子どもはがんばれる。

.....

■もう1つ紹介しましょう

「その一言」

その一言で 励まされ
その一言で 夢を持ち
その一言で 腹が立ち
その一言で がっかりし
その一言で 泣かされる
ほんのわずかな一言が
不思議な大きな力を持つ
ほんのちょっとした一言で

この詩は、高橋系吾さんの作とされています。

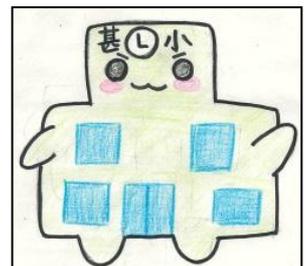
高橋系吾さんは、戦前、尋常小学校の教師をしていました。その後、幼児教育の大切さを実感し、戦後、東京の西日暮里の焼け跡を開拓して道灌山（どうかんやま）幼稚園を開園。道灌山学園幼児教育専門学校も設立し、専門の教育者も育てるなど、日本の幼児教育に大きく貢献をした方です。

言葉は、無限の可能性と大きな力を持っていますし、使い方によって、宝石にも狂気にもなりうる、人間だけが持つ不思議なアイテムです。（関連HPより要約）

お知らせ

「じんちゃん」3期目に

甚小オリジナルキャラクター「じんちゃん」の第2期の任期が本年12月までとなり、児童会で次期キャラクターについて検討した結果、「じんちゃん」で継続ということになりました。第3期は平成30年12月までです。



「じんちゃん」